

事業内容

農薬事業

種子から収穫まで護るホクコー農薬

農薬事業では、創立以来「種子から収穫まで護るホクコー農薬」をモットーに、安全で優れた農薬を製造販売しています。



農薬の研究開発

農薬は農作物を病害虫や雑草から守り、農作物を安定して供給できるようにすることで、私たちの豊かで安全な食生活を支えています。また、農薬は農作業を大幅に軽減するなど、農業においてなくてはならない重要な資材です。

高い安全性を示す新規有効成分「イプフェンカルバゾン（水稲用除草剤）」の開発に成功するなど、開発体制が充実しています。また、当社の高い製剤技術には定評があり、作業性の改善や省力化に貢献しています。

農薬の開発には、薬効・薬害試験だけでなく多くの安全性試験が行われます。そのため、新しい農薬の開発には10年以上の年月と数百億円の経費がかかります。新規化合物のうち農薬として登録されるのは、5万個のうち1個といわれています。



試験風景

当社では、稲の重要病害であるいもち病に高い防除効果を発揮する「カスガマイシン（水稲・園芸用殺菌剤）」をはじめ、近年では水田雑草のノビエに卓効があり、水稲に

生産体制

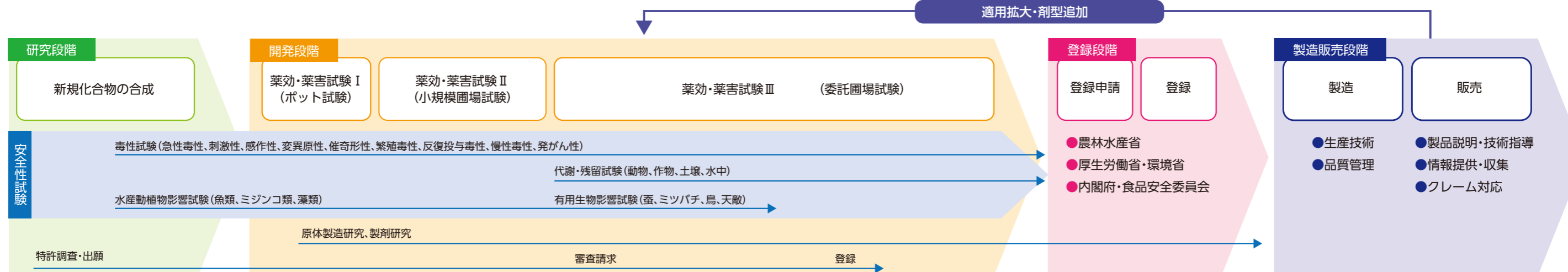
当社は、国内3工場において、充実した設備と技術により、高品質の製品を生産しています。生産にあたっては、周辺環境への配慮はもちろんのこと、作業環境にも十分な配慮を行い、水質汚濁、大気汚染などの公害防止対策に万全を期しています。



新潟工場 液剤第1工場

また、当社では、殺虫剤、殺菌剤、除草剤などの製剤および包装の受託製造も行っています。

●農薬の研究開発から製造販売の流れ



国内事業 多彩な製品のラインアップとサポート体制

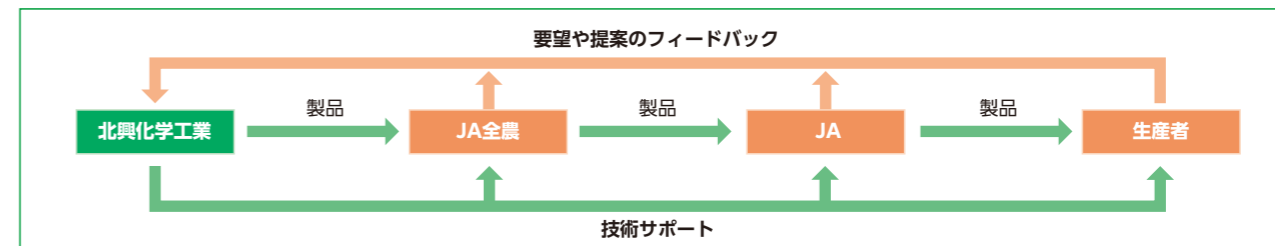
全国のJAを通して、水稲、野菜、果樹などの殺菌、殺虫、除草剤など200以上の製品を販売しています。販売拠点としては全国に7支店、各都道府県に営業担当者を置き、地域に密着した活動を行っています。

導機関、また実際に使用する生産者に対してきめ細かな情報提供を行っています。



主要製品

●サポート体制



海外事業 主にアジア、北米・中南米に展開

自社開発原体「カスガマイシン（水稲・園芸用殺菌剤）」および「イプフェンカルバゾン（水稲用除草剤）」を中心に、主にアジア、北米、中南米などへ販売しています。これら自社開発剤をさらに普及拡大するため、2016年5月、米国ノースカロライナ州に、HOKKO CHEMICAL AMERICA CORPORATION (子会社) を設立し、北米・中南米のマーケットに積極的に対応しています。



海外で販売されている主な製品

また、2016年11月には、輸出拡大に向けた安定供給体制の構築を目的に、「カスガマイシン」の専用プラントである新潟工場第二工場を建設、2018年12月には、熱帯地域に適合する薬剤開発のため、「イプフェンカルバゾン剤」の薬効・薬害試験を行う試験農場をベトナムに確保しました。



米国向けカスガマイシン液剤



新潟工場第二工場